

**①取組主体**

名称 : フラワータウンかみとんだ※  
担当窓口 : 担当課(者) 上富田町教育委員会生涯学習課 三浦  
住所 和歌山県上富田町朝来758  
電話・FAX 0739-47-5930

※取組主体ではなく、ボランティア、学校等が行っている活動の総称

団体等の種類 : 学校、その他(ボランティア)  
構成員数 : 236人(ボランティア参加者数)  
活動内容を紹介するHP、情報誌等の有無 : 無

**②連携している団体等の有無 : 無**

**③取組地域 和歌山県上富田町**

**④取組開始時期・経緯(動機含む)**

平成3年に「生涯学習に基づく上富田の教育目標」が制定された。翌年の4月に、その実践期に入ると同時に突破口として先ず「フラワータウンかみとんだ」と銘打ってその活動をスタートした。

**⑤目的(目標)**

- ・町民(児童生徒)の美意識を涵養し、豊かな心を育てる。
- ・花を育てる優しさ等情操教育の向上。
- ・異年齢交流を図ることにより、民主的な人間関係を作る。
- ・町内を花の町に育てることにより、郷土に愛情と誇りを持つ。
- ・奉仕活動の大切さを理解し、進んで参加する。

**⑥参加者数・属性推移**

平成18年度	ボランティア	200名	老人クラブ	100名
	小学生	170名	中学生	120名

**⑦経費**

花種子・用土・苗ポット・肥料・消毒薬等 年間 約35万円  
播種、発芽、育成、定植の一連作業を行い、育てる大切さも知る。

## ⑧具体的な取組内容

概要（関係者の連携方法・地域との関わり等含む）

- ・町内に花作りボランティアのグループがあり、先ずその方々に苗作りに加わってもらった。これは、熊野高校の協力支援が大きい。それを公共の場に提供し育ててもらったことから初め、現在17組のボランティアグループが登録されている。ボランティアの方々には、奉仕のたびに花苗を持ち帰ってもらい家庭で育ててもらった。こんな小さな積み上げが「フラワータウンかみとんだ」の意識を盛り上げたと思う。
- ・総合的な学習の時間の一環として、フラワータウン活動に参加する学校が出始め、その作業にはボランティアグループに呼びかけて援助してもらう中で、異年齢交流が育ってきた。今では町内全小学校・中学校が参加している。
- ・年と共に地域の公園や空き地等に、地域で花作りをしている箇所が植えてきた。

## ⑨これまでの成果（参加者の反応を含む）

- ・町広報で「フラワータウンかみとんだ」活動の取組を紹介し、啓発に努めてきた。また、同じく毎月の広報で、町民の家庭で花作りをされている人を紹介し、現在までに100人近い人たちに登場してもらった。これらが町民の関心を引き、広がりが増したものと感じられる。
- ・学校を訪問すると全ての学校に美しい花が育ち、子どもたちも花を大切にしている態度が育っている。育有会で花作りボランティアグループを立ち上げた学校もあり、親子で水やりや移植作業に励まれている。また、プランターを学校付近の道路にも置き、地域へ関心が波及している学校もある。

## ⑩今後の構想、課題

課題

水管理や除草作業・消毒作業に手間がかかり、公的な場所の管理はボランティアの負担が大きい。

構想

- ・ボランティアグループの増加に努めたい。
- ・町に花が増え、ゴミが減り、環境美化につながっているが一層善処したい。
- ・仲間作りや連帯意識の向上に努めたい。

## ⑪その他

別添：学級通信

町内市ノ瀬地区には、河川敷環境美化推進実行委員会が組織され、富田川の河川敷（6,500㎡）を利用して「コスモス園」を作っている。この組織には、22団体が参加し、小学校とPTAもそのなかの団体である。種まきか草引き、水やり等、子どもたちも参加し、活動を続け花の時期を迎える。10月中旬に「コスモスまつり」を開催し、絵、俳句、詩、作文等学年に応じた創作活動を発表し、地域総出で1日を楽しんでいる。

2006.6.21 (水) ; フラワータウン畵い中、みんな取り組んでくれました。(木村慶)

町立上富田中学校第2学年5組学級通信

青春の坂道第39号



# 全校でフラワータウン

昨日は1年生が町の取り組みの苗植え、2年生が学校園づくり、3年生は4F学習用の熊高生のみなさんの指導による種まきからはじめたメランポネイウムのポット移植と、全校で取り組みました。  
5組のみんなも各地区に別れて取り組んで、いい汗をかきました。

上富田中学校第2学年5組学級通信

KAMITONDA-0205 便

# 青春の坂道

第39号